

平成30年10月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 平成30年10月18日（木）午後3時00分
- (2) 閉 会 平成30年10月18日（木）午後4時30分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
- 第 2 教育委員の紹介について
- 第 3 教育長職務代理者の指名について
- 第 4 会議録の承認について
- 第 5 会議の非公開の決定について
- 第 6 協議事項6 平成29年度における認定こども園及び保育所並びに子育て支援及び児童福祉に係る教育委員会事務局職員による補助執行の市長への報告について
- 第 7 報告事項 平成29年度社会教育及び生涯学習に関する市民ふれあい部市民協働課による補助執行事務について
- 第 8 報告事項 平成29年度社会教育活動状況報告書について
- 第 9 報告事項 各課の所管事項について
- 第10 次回定例会の開催日程について
- 第11 その他

4 出席者

| | |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 西 本 則 彦 |
| 委 員 | 石 井 ひろ美 |
| 委 員 | 浦 崎 秀 一 |
| 委 員 | 大 北 由 美 |
| 委 員 | 實 井 政 治 |

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

| | |
|---------------|-------|
| 教育総務部長 | 石田英之 |
| 教育振興部長 | 奥村浩哉 |
| 教育振興部次長 | 岩崎恵 |
| 教育総務課長 | 五百蔵一也 |
| 教育施設課長 | 長池陽作 |
| 文化・スポーツ課長 | 森本雅彦 |
| 学校教育課長 | 生田淳仁 |
| 教育センター所長 | 大東豊 |
| 教育・保育課長 | 正心均 |
| 生涯学習課長 | 近藤豊 |
| 図書館長 | 伊藤真紀 |
| 企画政策課長 | 降松俊基 |
| 人権推進課長 | 辻田政顕 |
| 子育て支援課子育て応援係長 | 濱口明子 |
| 教育総務課係長 | 能出真一 |
| 教育総務課 | 澤田静香 |

7 傍聴者 なし

開 会

教育長が、平成30年10月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、大北委員と實井委員を指名した。

日程第2 教育委員の紹介について

10月1日から三木市教育委員会委員に就任した實井政治氏が自己紹介を行い、続いて教育総務部、教育振興部の順で事務局職員が自己紹介

を行った。

日程第3 教育長職務代理者の指名について

教育長が、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、教育長職務代理者に石井委員を指名した。

日程第4 会議録の承認について

教育長が、平成30年9月定例会（19日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第5 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、公開で審議することを決定した。

日程第6 協議事項6 平成29年度における認定こども園及び保育所並びに子育て支援及び児童福祉に係る教育委員会事務局職員による補助執行の市長への報告について (教育総務課)

○五百蔵教育総務課長が次のように説明した。

報告の内容は、市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則に定める事務で、(1)認定こども園及び保育所に関する事(2)子育て支援及び児童福祉に関する事である。報告を行う理由は、市長の権限に属する事務の補助執行に係る教育委員会会議での取扱基準第4条において、市長に報告することを規定しており、このたび平成29年度の事業実績を市長に報告するものである。

「教育委員会事務局の職員数」と「教育委員会所管業務の歳出決算見込額」を3ページに記載している。補助執行事務の内容として、大項目「Ⅰ 認定こども園及び保育所に関する事」については、3ページ中段から7ページまで、「Ⅱ 子育て支援及び児童福祉に関する事」については、8ページから16ページに記載している。大項目ごとに課題と今後の取組を記載している。

(西本教育長) 「認定こども園及び保育所に関する事」は、教育委員会の権限に属する事務ではないが、義務教育を担っている教育委員

会で行う方がより効果が期待できるため、市長から補助執行を受けている。「子育て支援及び児童福祉に関すること」は、今年4月の組織改編で健康福祉部で行うことになったが、昨年度までは教育委員会が所管していたため記載している。概略の説明を願う。

(正心教育・保育課長) 大項目の「I 認定こども園及び保育所に関すること」の上の丸保育所耐震化対策について、事前に保護者に対する説明を行い、園舎の補強計画及び実施設計の作業を進めた。就学前教育・保育施設の第三者評価及び監査について、11施設において第三者評価を実施した。監査については、書面監査を21施設のすべてで実施した。実地監査は、民間認定こども園5施設、公立認定こども園1施設、公立保育所1施設、公立幼稚園3施設で実施した。

また、保育者合同研修会等を、記載のとおり実施した。

市内の就学前教育・保育施設の入所状況については、年度末の受入れ状況が2,237人、そのうち市外からの入所が99人であった。

(長池教育施設課長) 「公立認定こども園及び公立保育所の施設整備」について、表に記載している工事等を行った。「公立認定こども園及び公立保育所の施設維持管理業務等」について、修繕と維持管理のほか、備品の購入などを進めた。「公立認定こども園及び公立保育所の給食業務」について、給食の献立の検討や食材の選定、調理業務の指導及び運営経費に係る予算執行を行った。

(正心教育・保育課長) 「就学前教育・保育施設の認可及び届出」の小規模保育施設の認可状況については、4園の認可を行い、定員については、いずれの園も19人で、合計76人となった。

課題と今後の取組として、引き続き保育教諭の確保が必要であることから、合同就職説明会や大学との連携を強化するとともに、修学資金貸与制度、保育教諭人材確保事業等を通じて人材の確保を図っていく。

(濱口子育て支援課子育て応援係長) 「子育て支援及び児童福祉に関する

ること」について、「みきっ子未来応援協議会」を2回開催した。放課後児童健全育成事業（アフタースクール事業）は、市内全小学校区で受入れを行った。「地域子育て支援拠点事業」として、市立児童センターと吉川児童館の2施設で子どもの遊びの場を提供した。「多世代交流施設整備事業」では、子どもから高齢者まですべての人が元気に生き生きと活動しながら生きがいを創造することのできる拠点として、「みきっこランド」を建設した。

今後の取組として、子育て世代の多くが情報収集の手段として、インターネットやSNSを活用していることから、新たにSNSを活用した情報発信に取り組んでいく。また、福祉、子育て、学校教育と連携し、子どもの貧困対策に取り組んでいく。

（浦崎委員）保育教諭の確保が引き続き課題となっているが、人員不足の原因をどのように分析しているのか。

（正心教育・保育課長）絶対数の不足が、根本的な原因であると認識している。今後の方策として、「三木市の教育・保育に携わりたい。」と思われるよう、一層の質の向上を図っていくことが重要であると考える。民間の認定こども園とも連携し、各大学を回り、PRを行っているが、三木市での募集状況について、就職を目指す学生に迅速に伝える取組も必要であり、現在行っている修学資金貸与や修学体験補助のPR方法なども合わせて検討している。

（西本教育長）修学資金貸与制度の開始年度と、これまでの実績はどのようにになっているか。

（正心教育・保育課長）修学資金貸与制度は、平成28年から実施している。現在の利用者は12人で、そのうち市内の施設に8人が就職し、残りの4人は学生である。市内施設に5年間勤務すると、貸付資金の返済は免除となる。

（石井委員）4、5ページの「市内就学前教育・保育施設の入所状況」一覧で、在籍人員が定員を超過している園があるが、どういうこと

なのか。

(正心教育・保育課長) 定員については認可上の定員で、面積基準や保育者の基準を満たしていれば受入れは可能である。

(石井委員) 3ページに「質の高い教育・保育を実施するため、第三者評価を実施した。」とあるが、具体的に評価や指導はどのように行っているのか。

(岩崎教育振興部次長) 大学教授が入ったの指導は2巡目になる。今年度から、午前の部は計画訪問として事務局からも指導主事が付き、指導している。平成28年度に保育園から認定こども園になったところは、戸惑っていた現場も、大学教授による具体的な指導により、保育教諭の意識が変わってきたと感じる。机上の研修だけではなく、実際の保育現場で、「見て、聞いて、感じて学ぶ」というテーマで進めている。その成果として、今まで公開保育の経験がなかった民間園の保育教諭にも、他者から見てもらえる嬉しさや楽しさを学ぶことができたと感じている。

(大北委員) 3ページに教育委員会事務局の職員数が挙げられているが、正規職員が6人減り、非正規職員が16人増えている。この数字について教えて欲しい。

(西本教育長) 数字については、年度末比較となっており、年度途中の退職で正規職員が減になっている場合と正規職員の定年退職者が再雇用となり、非正規職員として業務を継続したため、正規と非正規の内訳が変更になっている場合がある。非正規職員が増えたもうひとつの理由として、学校教育、就学前教育の中で特別な支援を要する子どもが増えており、加配対応していることが挙げられる。

以上で協議は終了とさせていただき、本日のご意見を踏まえ、市長に報告させていただく。

日程第7 報告事項 平成29年度社会教育及び生涯学習に関する市民ふれあい部市民協働課による補助執行事務について
(生涯学習課)

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

社会教育委員会及び公民館運営審議会をそれぞれ2回開催した。生涯学習の推進については、10公民館で各種講座を開催した。地域人権学習の推進として、住民学習会をはじめとする人権研修を開催した。社会教育団体の育成として、連合婦人会の活動を支援した。まなびの郷みずほについては、高齢者大学、大学院を開講し高齢者の学びの機会を提供するとともに、地域リーダーの育成を図った。別所ふるさと交流館では、コーヒーや餃子の販売等を行い、交流の機会を提供した。また、別所ゆめ街道が整備されたことにより、新たな交流が図られると考えている。

日程第8 報告事項 平成29年度社会教育活動状況報告書について(生涯学習課)

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

別冊の平成29年度社会教育活動状況報告書を作成した。毎年、作成しているもので、主要施策実績報告書から教育委員会各課及び市長部局の社会教育関係事業の実績を抜粋している。また、主要な事業については、成果と課題を掲載した。報告書は、ホームページや各公民館に配布し、広く市民へ公開する。

(大北委員) 社会教育の現状把握と将来への検討をするに当たり、しっかりと数字が掲載された貴重な資料であるため、今後も継続して作成していただきたい。

日程第9 各課の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が次のように報告した。

学校施設整備工事等の進捗状況について、学校園施設長寿命化計画策定業務委託については、現在、建物の維持・更新にかかる改修工事費の積算業務に取り掛かっている。

上の丸保育所耐震補強工事は、すべて完了した。

(2) 文化・スポーツ課報告事項

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

実施した事業として、みなぎの書道展審査を9月22日に、審査員6人と吉川高校書道部8人の協力を得て実施した。東はりまコーラス大会を9月23日に開催し、三木市からは16人の参加があった。みなぎの書道展を10月6日から14日まで開催し、来場者は2,644人であった。第3回歴史ウォークを10月7日に歴史資料館がある二の丸跡から本丸跡、新城跡のルートで開催し、18人の参加があった。スナッグゴルフ講習会兼東・北播磨スポーツ推進委員女性研修会を10月13日に開催した。

今後の予定として、兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会を10月21日に開催する。東はりま大茶会を10月28日にいこいの村はりまで開催する。同日、市民合唱祭を文化会館で開催する。菊花展を10月22日から11月4日の金物まつり終了まで文化会館前で開催する。金物まつり協賛、秋の木版画展を堀光美術館で10月28日から11月14日まで、市民文化まつりの作品展示を文化会館などで11月3日と4日、わくわくスタンプラリーを11月3日と4日、金物まつりの会場と中央図書館、歴史資料館、美術館、金物資料館の4施設で開催する。

(大北委員) 実施した事業と今後の予定事業の中で、新規事業と継続事業を教えて欲しい。

(森本文化・スポーツ課長) 挙げた中に新規事業はなく、例年実施している事業である。

(西本教育長) 今後、事業を報告する際は、新規事業と継続事業が分かるように説明を加え、新規事業については、その事業の目的を、継続事業については、課題等があれば報告願う。

(3) 学校教育課報告事項

○生田学校教育課長が次のように報告した。

実施した事業として、第7回定例校園長会を10月3日に開催した。校園閉庁に関するアンケート結果について、学校の回答結果を公表した。運動会については、小学校の多くは9月22日に開催した。自

然学校を自由が丘東小学校が9月24日から28日まで実施し、これですべての小学校が自然学校を終えた。中学校新人体育大会を9月23日から10月6日まで開催した。6フレンドリーウォークを10月2日に開催し、小学6年生657人の参加があった。同日、同じく三木総合防災公園で中学校総体駅伝大会を開催した。小学校の修学旅行を記載の日程で実施した。学校再編について、地域部会を各地区記載の日程で実施した。地域部会とは別に、住民説明会を口吉川町、細川町で開催した。

今後の予定として、第8回定例校園長会を11月7日に開催する。修学旅行を10月22日から11月上旬まで記載の小学校が実施する。教育委員会の計画訪問指導を星陽中学校から順に記載の日程で実施する。学力向上指定研究発表を吉川中学校が11月2日に、中吉川小学校、上吉川小学校が11月9日に行う。文化祭、音楽会を記載の日程で順次開催する。三木市中学校連合音楽会は11月8日に、小学校連合音楽会は11月22日に開催する。三木市教育事業学習交流会を11月10日に開催する。学校再編の地域部会を別所中学校区で10月23日に開催する。

(石井委員) 学校再編の住民説明会への参加者は、どのような方が多かったのか。

(生田学校教育課長) 保護者と地域住民の方々に、地域住民の方が若干多かった。細川町については、地域住民の中に就学前の保護者の参加もあった。これから学校に通う子どもの保護者にも関心を持っていただいている。

(大北委員) 連合体育祭が6フレンドリーウォークに代わり、9年が経過した。目的に照らし合わせた効果が出ているのか、あるいは今後10年以上続けていくのであれば、どのような課題があるのかを問い直す時期ではないか。

(生田学校教育課長) 1中学校に複数の小学校から行くため、小学生同士の交流を目的に実施しているが、小中連携教育の授業が盛んに行われ、その他の連携事業の効果も表れていることから、来年度は10年目の節目になるので実施するが、それ以降のことは来年度に検

討したい。

(4) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

実施した事業として、研修講座を3回実施した。相談業務については記載のとおりである。不登校対策適応教室事業は、9月末現在で中学生が11名在籍している。

今後の予定として、子ども元気力向上講座を10月25日に開催する。

青少年センターの実施した事業として、人の目の垣根隊意見交換会を自由が丘小学校、みなぎ台小学校、別所小学校の3校で実施した。今後の予定として、人の目の垣根隊研修会を10月19日に実施する。人の目の垣根隊意見交換会については、6校で実施する。第5回役員会を11月9日に行い、その後、深夜補導を実施する。

(5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が次のように報告した。

実施した事業として、評価を記載の日程により7園で実施した。午前に実施した園は、計画訪問を兼ねて実施した。第7回三木市保育協会理事会を10月4日に開催した。運動会を記載の日程で実施した。平成31年度認定こども園及び保育所の児童募集を10月6日に実施した。用紙配布と事前相談で116組の保護者の相談等を行った。受付については、10月9日から開始している。

今後の予定として、特定教育・保育施設の監査に関する研修会、保育者交流研修会（人権教育講演会）を10月20日に実施する。評価については、清心緑が丘認定こども園、エンゼル認定こども園で記載の日程で実施する。三木市保育協会作品展を11月7日から20日まで市役所プロムナードで、11月20日から30日まで中央図書館で開催する。第8回三木市保育協会理事会が11月8日に開催される。平成31年度幼稚園の児童募集については、11月5日から16日まで各幼稚園で実施する。

(6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

実施した事業として、高齢者大学・大学院体育祭が10月5日に

開催された。参加者は約200人であった。東・北播磨地区社会教育・公民館研究大会が10月16日に開催され、三木市からも社会教育委員、公民館関係者が出席した。今後の予定として、平成30年度第6回地域まちづくり担当者会を10月19日に開催する。

公民館では、三木南交流センター文化フェスティバルを10月28日に三木南交流センターで開催する。青山大運動会を10月21日に青山中央公園で開催する。

(7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

実施した事業として、えいごのおはなし会を10月14日に開催し、読み手は図書館スタッフで、参加者は12人であった。のじぎく特別支援学校インターンシップの受け入れを記載の日程で吉川図書館と中央図書館で実施した。

今後の予定として、図書館マナーアップキャンペーンを10月20日から11月30日まで実施する。各図書館の窓口で貸出しの際に、本の切取りや書き込み、返却時の注意事項などを分かりやすく説明したチラシを配布する。絵本と音楽のライブツアーを、吉川図書館は10月21日、青山図書館は11月3日、中央図書館は11月11日に開催する。金物まつりスタンプラリーを11月3日、4日に開催する。おとなのためのおはなし会を11月14日に開催する。

日程第10 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日程について諮り、平成30年11月20日、午後3時から開催することを決定した。

閉 会

教育長が、平成30年10月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。